





廃止が進んでいるPPAP運用 あなたの会社は対策できていますか？

PPAP運用の主な課題

- 

課題① ZIPファイルのウイルスチェックができない
パスワード付きZIPファイルがEmotet等の脅威メールで悪用される
- 

課題② 業務効率化の低下
送信者はZIPファイルごとに手作業でパスワード設定する必要があり、受信者はパスワードの管理が必要
- 

課題③ 盗聴リスク
パスワード付きZIPファイルを使っても、パスワードは総当たりで突破できるためファイルの中身を盗み見られる
- 

課題④ 誤送信リスク
ファイルとパスワードを誤送信してしまった場合は取り返しがつかない



PPAP対策チェックリスト

1つでも赤字に該当する場合、対策が必要です

No	質問	チェック項目	
1	お客様のメール環境についてお聞かせください	<input type="checkbox"/> Microsoft365 <input type="checkbox"/> 自社オンプレ <input type="checkbox"/> Google Workspace <input type="checkbox"/> ホスティング環境 <input type="checkbox"/> その他	
2	取引先からパスワード付きZIPファイルが添付されたメールを受信することがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<div style="background-color: #f4a460; padding: 10px; text-align: center;"> 受信メール のPPAP対策が必要！ </div>
3	Emotetなど取引先を装ったメールが現在も届くことがあるもしくは、今届いたとしたら社内の誰かが開封する恐れがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
4	取引先へZIPファイルを送付したら、受け取り不可といわれるケースがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
5	外部へのファイル受け渡しはZIPファイルでの受け渡しをしている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> 送信メール のPPAP対策が必要！ </div>
6	ZIPファイル以外(オンラインストレージなど)でパスワードを用いてファイルの送信を行っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
7	現在ご利用中のストレージサービスなどがあればお聞かせください		

強固なPPAP対策を実現！

m-FILTER. m-FILTER@Cloud™

受信メールのPPAP対策

メールに添付されたZIPファイルにセキュリティチェックをかけ、安全なメール受信が可能

1 受信メールのZIPファイルを自動隔離



添付されたZIPファイルのセキュリティチェックをするため、自動で一旦隔離される

2 セキュリティチェック



送信者から受信したZIPファイルのパスワードを受信者が画面に入力。「m-FILTER」が自動でセキュリティチェックを行う

3 安全な添付ファイル付きメールのみ受信



安全なメールは、そのまま受信でき、危険なメールは、自動的に隔離され、受信者にその旨をメールでお知らせ

送信メールのPPAP対策

お客様のニーズに合わせた2つ対策方法をご用意しています

送信対策1

ファイルセキュリティ「FinalCode」との連携で、送信メールの添付ファイルを自動的に暗号化閲覧権限のある受信者しか閲覧できず、送信後に“あとから閲覧不可”にすることも可能

1 添付ファイルを自動暗号化 (パスワード不要)



「m-FILTER」と「FinalCode」が連携し、添付ファイルをパスワード不要で自動暗号化して送信

2 受信者も開封時にパスワード不要



暗号化された添付ファイルが自ら開封認証するので、パスワード入力が不要

3 送信後も添付ファイルを守る



添付ファイルは送信後も閲覧権限の変更が可能、いざとなったら“あとから”削除も可能

送信対策2

「クリプト便 for m-FILTER」連携で、送信メールの添付ファイルを自動的に分離受信者はアカウント認証によりパスワードを利用しないファイルダウンロードが可能

1 本文と添付ファイルを自動で分離



「m-FILTER」が自動的に、「メール本文」と「添付ファイル」を分離

2 添付ファイルは別メール記載のURLから取得が可能



本文はそのまま受信者に、添付ファイルは別メールのダウンロードURLから取得可能

3 ゲストユーザーログイン機能で脱PPAP



クリプト便のゲストユーザーログイン機能により、パスワードの代わりにアカウント認証をすることでファイル取得が可能

※「クリプト便 for m-FILTER」オプションの購入が必要です。

DigitalArts.

デジタルアーツ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町アーススクエア ウェストタワー14F

Tel 03-5220-3090 Fax 03-5220-1130
sales-info@daj.co.jp
www.daj.jp

DD-11758-002

■本書は2023年2月現在の情報を基に作成されています最新の情報は弊社Webサイトをご参照ください。

■デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Dアラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Dアラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-FILTER、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、DアラートおよびUDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。